

通気管用屋外保護カバー TOP100 施工要領書

この度は当社製品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
施工の前に必ず本施工要領書をよく読み、正しく施工してください。

施工イメージ



同梱部材

ソケット



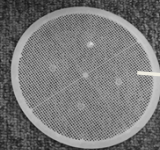
キャップ



パッキンビス
(4セット)



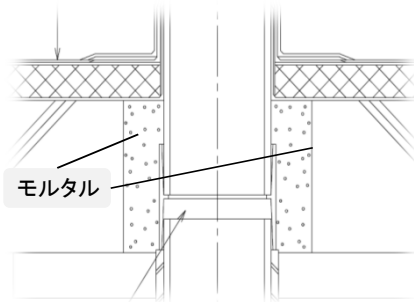
防虫網
(セット品のみ)



【施工手順】

① スラブを貫通させ、VP管の固定を行ってください。

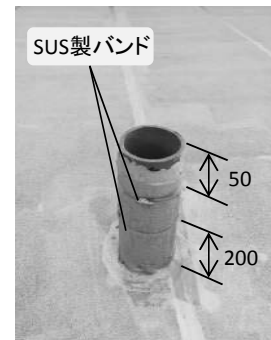
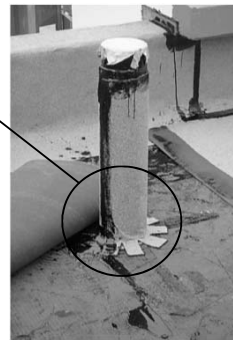
- ・屋上スラブの通気管用スリーブにVP管を通し、モルタルにて固定を行って下さい。
 - ・この際のVP管の立上げ高さは、スラブ面から550mm以上を推奨します。
- ※詳細は「施工例図」を参照ください。



手順①②はアスファルト防水の一例です。
その他の防水工法はメーカーの仕様を参照してください。

② VP管へアスファルト防水を行ってください。

- ・防水巻上げ高さは、スラブ面から500mm以上を推奨します。
 - ・スラブ面とVP管の隙間は網状ルーフィングにて補強してください。
 - ・アスファルト防水後にはSUS製バンドをスラブ面から200mmと、上端面から50mmの位置に2ヶ所取り付けてください。
- ※詳細は「施工例図」を参照ください。



③ パイプ端面の仕上げと清掃を行ってください。

- ・パイプの端面を平らにし内径側の面取り加工を行ってください。



- ・パイプ内側の接着面をウエス等で清掃してください。



④ ソケットとパイプに接着剤を塗布してください。

- ・塩ビ専用の接着剤を用いて、ソケットの外径部とパイプの内面にそれぞれ塗布ししっかりと押え込んで保持してください（夏場：30秒以上 / 冬場：60秒以上）



⑤ (網を嵌め込んで下さい。) ※『防虫網』 は地下ピット用でご使用ください。

- ・ 維持管理時に脱着させる為、接着は行わないで下さい。



※地下ピット用など
網付きをご使用に
なられる場合のみです

施工例)
地下ピット用
地下貯水槽 . . . など

⑥ 接着したソケットとの位置を合わせ、キャップを被せてください。

- ・ ビス穴の位置を目安に合わせて下さい。



⑦ タッピングねじを締め込んでください。(4カ所)

- ・ 4本 全て使用して下さい。

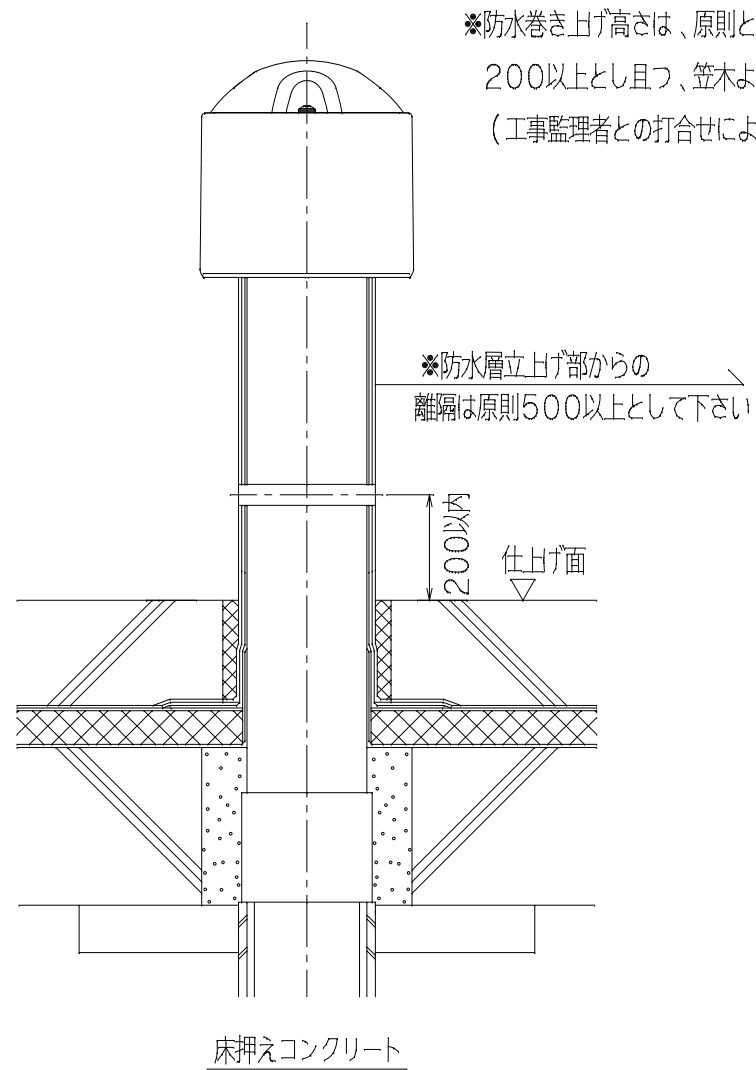
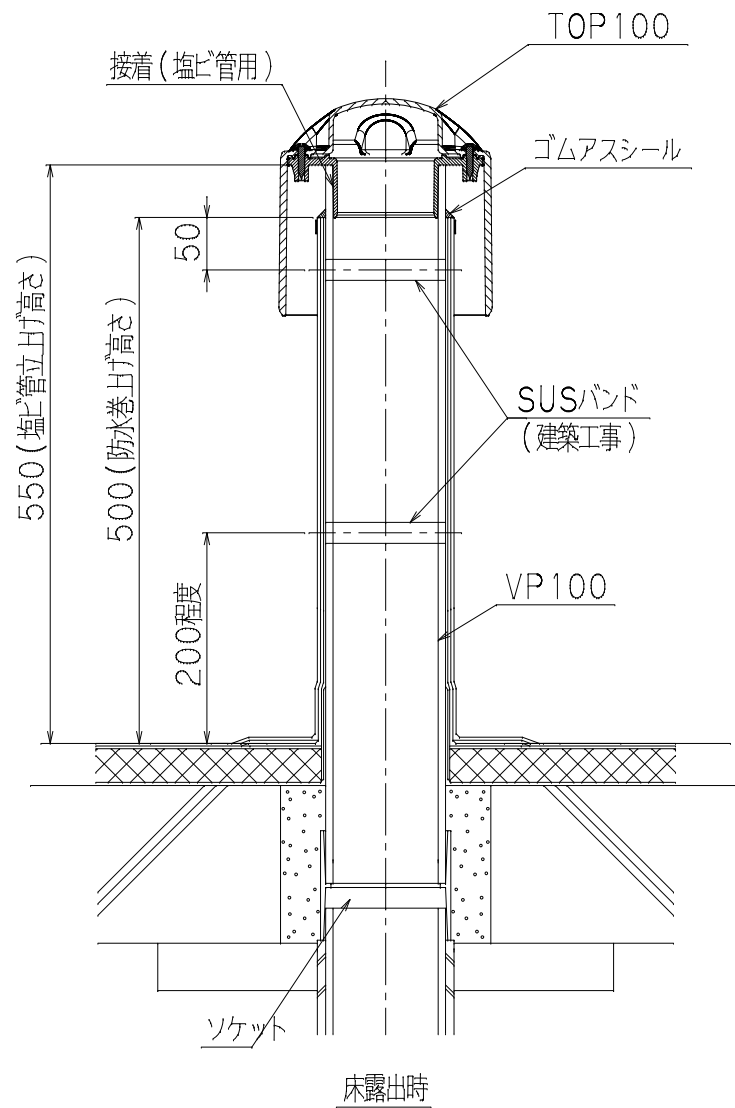


※ねじ止めを行わないと
当製品の飛散や
雨水の浸入などが起こる
おそれがあります

同梱でセットしてある通り
ワッシャーとパッキンの
向きに注意して下さい

⑧ 完成です。





※防水巻き上げ高さは、原則として床仕上げ面より
200以上とし且つ、笠木よりも50以上高くして下さい
(工事監理者との打合せにより決定して下さい)

※防水層立上げ部からの
離隔は原則500以上として下さい

※防水工事に関しては、建築工事標準仕様書(JASS)に準拠した施工方法として下さい

品名	TOP100	詳細施工例図
前澤化成工業株式会社	図番	参考図